

## V 成果普及活動

### 1. 出版物・報告書の製作

#### (1) 定期刊行物編集委員会

##### ① 和文機関誌『アジア経済』

第50巻第4号から第51巻第3号まで12点を刊行した。

平成21年度編集委員会の委員は、次の通りである。

委員長	平野克己	(地域研究センター)
委員	大原盛樹	(地域研究センター東アジア研究グループ)
〃	荻野洋司	(図書館資料サービス課)
〃	川村晃一	(地域研究センター東南アジアI研究グループ)
〃	久保公二	(開発研究センター国際経済研究グループ)
〃	坂田正三	(国際交流・研修室)
〃	望月克哉	(研究支援部)
〃	佐藤幸人	(新領域研究センター)
〃	辻田祐子	(地域研究センター南アジア研究グループ)
〃	濱田美紀	(開発研究センター国際経済研究グループ)
〃	福西隆弘	(地域研究センターアフリカ研究グループ)
〃	村上薫	(地域研究センター中東研究グループ)
〃	山岡加奈子	(地域研究センターラテンアメリカ研究グループ)
〃	松原浩司	(研究支援部出版企画編集課)

##### ② 英文機関誌 *The Developing Economies*

Vol. 47, No. 2 から Vol. 48, No. 1 までの4点を刊行した。

平成21年度編集委員会の委員は、次の通りである。

委員長	浦田秀次郎	(早稲田大学)
委員(所外)	国友直人	(東京大学)
〃	黒崎卓	(一橋大学経済研究所)
〃	深尾京司	(一橋大学経済研究所)
〃	福田慎一	(東京大学)
〃	丸川知雄	(東京大学)

- 〃 三重野 文 晴 (神戸大学)
- 委員 (所内) 久 保 研 介 (開発研究センター開発戦略研究グループ)
- 〃 佐 藤 幸 人 (新領域研究センター)
- 〃 高 橋 和 志 (開発研究センターマクロ経済分析グループ)
- 〃 寶 劔 久 俊 (開発研究センター開発戦略研究グループ)
- 〃 野 上 裕 生 (開発研究センター)
- 〃 望 月 克 哉 (研究支援部)
- 〃 山 形 辰 史 (新領域研究センター貧困削減・社会開発研究グループ)
- 〃 岡 田 雅 浩 (研究支援部出版企画編集課)

### ③ 『アジ研ワールド・トレンド』

第163号から第174号の12点を刊行した。

平成21年度編集委員会の委員は、次の通りである。

- 委員長 望 月 克 哉 (研究支援部)
- 委 員 池 上 寛 (新領域研究センター技術革新と成長研究グループ)
- 〃 上 谷 直 克 (地域研究センターラテンアメリカ研究グループ)
- 〃 内 村 弘 子 (新領域研究センター貧困削減・社会開発研究グループ)
- 〃 柏 原 千 英 (開発研究センター開発戦略研究グループ)
- 〃 狩 野 修 二 (図書館資料企画課)
- 〃 樹 神 昌 弘 (開発研究センター国際経済研究グループ)
- 〃 鈴 木 均 (新領域研究センター国際関係・紛争研究グループ)
- 〃 辻 田 祐 子 (地域研究センター南アジア研究グループ)
- 〃 真 田 孝 之 (研究支援部)

## (2) 平成21年度出版物・報告書一覧

出版物	編著者
1. 有料出版物 (1) 定期刊行物 和文機関誌『アジア経済』(月刊B5判) 第50巻第4号～第12号, 第51巻第1号～第3号 総合分析情報誌『アジ研ワールド・トレンド』(月刊A4変型判) 第163号(2009年4月号)～第174号(2010年3月号) 英文機関誌 <i>The Developing Economies</i> (季刊B5変型判) Wiley-Blackwell 刊行 Vol. 47 No. 2～No. 4, Vol. 48 No. 1 『現代の中東』 No. 47, No. 48 『ラテンアメリカ・レポート』 Vol. 26 No. 1, No.2 『アフリカレポート』 No. 49, No. 50 『アジア動向年報 2009』	

<p>(2) 研究双書</p> <p>変容するベトナムの経済主体 インド民主主義体制のゆくえ——挑戦と変容—— 現代アフリカ農村と公共圏 ポスト民主化期の台湾政治——陳水扁政権の8年—— 開発途上国と財政——歳入出、債務、ガバナンスにおける諸課題—— 新興民主主義国における政党の動態と変容</p>	<p>坂田正三 編 近藤則夫 編 児玉由佳 編 若林正丈 編 柏原千英 編 佐藤 章 編</p>
<p>(3) アジ研選書</p> <p>中国農村改革と農業産業化 韓国の FTA——10年の歩みと第三国への影響—— 中国経済の持続可能な成長——資源・環境制約の克服は可能か？—— 新興諸国の資本財需要——ロシアとベトナムの工作機械市場—— メコン地域——国境経済をみる——</p>	<p>池上彰英・寶劍久俊 編 奥田 聡 著 堀井伸浩 編 水野順子 編 石田正美 編</p>
<p>(4) アジアを見る眼</p> <p>貧困国への援助再考——ニカラグア草の根援助からの教訓—— インド——児童労働の地をゆく——</p>	<p>加賀美充洋 著 田部 昇 著</p>
<p>(5) 情勢分析レポート</p> <p>アジア・コメ輸出大国と世界食糧危機——タイ、ベトナム、インドの戦略—— パキスタン政治の混迷と司法——軍事政権の終焉と民政復活における司法部のプレゼンスをめぐって—— 2009年インドネシアの選挙——ユドヨノ再選の背景と第2期政権の展望——</p>	<p>重富真一・久保研介・塚田和也 著 佐藤 創 編  本名 純・川村晃一 編</p>
<p>2. 調査研究報告書等（非売品、ウェブサイト公開）</p>	
<p>(1) 調査研究報告書</p> <p>東南アジアにおける自治体ガバナンスの比較研究 現代インドの国際関係：メジャー・パワーへの模索 2005年国際産業連関表の作成と利用 Compilation and Use of the 2005 International Input-Output Tables 台湾総合研究Ⅲ——社会の求心力と遠心力 Spatial Statistics and Industrial Location in CLMV タイの立法過程とその変容 グローバル化のオセアニア 開発途上国のマクロ計量モデル 開発途上国における財政運営上のガバナンス問題 New Challenges in New Economic Geography 雇用の非正規化と国際貿易 ラウル政権下のキューバ 食料危機と途上国におけるトウモロコシの需要と供給 African Producers in the New Trend of Globalization: An Interim Report アフリカ・中東における紛争と国家形成 ミャンマー軍事政権の行方</p>	<p>永井史男・船津鶴代 編 近藤則夫 編  猪俣哲史・桑森啓 編  佐藤幸人 編 黒岩郁雄 編 今泉慎也 編 塩田光喜 編 野上裕生・植村仁一 編 小山田和彦 編 熊谷聡 編 佐藤仁志 編 山岡加奈子 編 清水達也 編 福西隆弘 編 佐藤 章 編 工藤年博 編</p>

<p>ラオス チンタナカーン・マイ (新思考) 政策の新展開          韓国の対日貿易赤字問題          途上国農業・農村研究への社会ネットワーク分析からのアプローチ          南アジアの障害者当事者と障害者政策——障害と開発の観点から——          貿易指数の作成と応用: 貿易構造の変化と国際比較</p>	<p>山田紀彦 編          水野順子 編          坂田正三 編          森 壮也 編          野田容助・黒子正人 編</p>
<p>(2) Spot Survey          Asia beyond the Crisis: Visions from International Input-Output Analyses</p>	<p>Ed. Satoshi Inomata and          Yoko Uchida</p>
<p>(3) IDE Discussion Paper Series</p> <p>No.200 An Empirical Analysis of the Monetary Policy Reaction Function in India</p> <p>No.201 Structural Changes in Asparagus Production and Exports from Peru</p> <p>No.202 Economic Voting and Electoral Volatility in Turkish Provinces</p> <p>No.203 Location Advantages and Disadvantages in Myanmar: The Case of Garment Industry</p> <p>No.204 Trade Coefficients and the Role of Elasticity in a Spatial CGE Model Based on the Armington Assumption</p> <p>No.205 Border Trade and Economic Zones on the North-South Economic Corridor: Focusing on the Connecting Points between the Four Countries</p> <p>No.206 Issues Affecting the Movement of Rural Labour in Myanmar : Rakhine Case Study</p> <p>No.207 Who Uses FTAs?</p> <p>No.208 Market Access and Intermediate Goods Trade</p> <p>No.209 Measuring Fiscal Decentralization in the Philippines</p> <p>No.210 The Iron and Steel Industry in Asia: Development and Restructuring</p> <p>No.211 Complex Vertical FDI and Firm Heterogeneity: Evidence from East Asia</p> <p>No.212 Agglomeration versus Fragmentation: A Comparison of East Asia and Europe</p> <p>No.213 The Effect of Product Classifications on the Formulation of Export Unit Value Indices</p> <p>No.214 The Technology Gap and the Growth of the Firm: A Case Study of China's Mobile-phone Handset Industry</p> <p>No.215 Analysis on International Trade of CLM Countries</p> <p>No.216 What Explains Real and Nominal Exchange Rate Fluctuations? Evidence from SVAR Analysis for India</p> <p>No.217 The Cuban Economy: A Current Evaluation and Proposals for Necessary Policy Changes</p>	<p>Takeshi Inoue and          Shigeyuki Hamori</p> <p>Tatsuya Shimizu          Yasushi Hazama          Toshihiro Kudo</p> <p>Asao Ando, Bo Meng, and          Chao Qu</p> <p>Takao Tsuneishi</p> <p>Ikuko Okamoto</p> <p>Kazunobu Hayakawa,          Daisuke Hiratsuka,          Kohei Shiino, and Seiya          Sukegawa</p> <p>Kazunobu Hayakawa          Hiroko Uchimura and          Yurika Suzuki</p> <p>Hajime Sato</p> <p>Kazunobu Hayakawa and          Toshiyuki Matsuura</p> <p>Kazunobu Hayakawa,          Zheng Ji, and Ayako Obashi</p> <p>Soshichi Kinoshita</p> <p>Koichiro Kimura</p> <p>Nu Nu Lwin</p> <p>Takeshi Inoue and          Shigeyuki Hamori</p> <p>Omar Everlenny Pérez          Villanueva</p>

No.218	Measurements to Assess Progress in Rights and Livelihood of Persons with Disabilities: Implications Drawn from the IDE-PIDS Socio-Economic Survey of PWDs	Soya Mori and Tatsufumi Yamagata
No.219	Capability Matrix: A Framework for Analyzing Capabilities in Value Chains	Yuri Sato and Mai Fujita
No.220	Shock Transmission Mechanism of the Economic Crisis in East Asia: An Application of International Input-Output Analysis	Ikuo Kuroiwa and Hiroshi Kuwamori
No.221	Inferring the Effects of Vertical Integration from Entry Games: An Analysis of the Generic Pharmaceutical Industry	Kensuke Kubo
No.222	The Experience of National Rainbow Coalition (NARC) : Political Parties in Kenya from 1991 to 2007	Miwa Tsuda
No.223	The Taiwan Strait Crisis of 1954-55 and U.S.-R.O.C. Relations	Haruka I. Matsumoto
No.224	Separation of Control and Cash-flow Rights of State-owned Listed Enterprises: Channels of Expropriation following Discriminated Share Reform in China	Mariko Watanabe
No.225	Natural Gas Export Revenue, Fiscal Balance and Inflation in Myanmar	Koji Kubo
No.226	Cost Reduction Effects of “pseudo FTAs” in Asia: Application of a Price Model Based on a Multilateral I/O Table	Chiharu Tamamura
No.227	Large Fluctuations in Consumption in Least Developed Countries	Masahiro Kodama
No.228	Strategic Trade Policy and Non-Linear Subsidy	Hisao Yoshino
No.229	Related Lending and Bank Performance: Evidence from Indonesia	Miki Hamada and Masaru Konishi
No.230	The Diversity and Dynamics of Industrial Organisation: Transformation of Local Assemblers in the Vietnamese Motorcycle Industry	Mai Fujita
No.231	A Critical Review of Opinion Polls Relating to Iranian Voting Intentions: Problems of Research Methodology as Applied to Complex Societies	Hitoshi Suzuki
<b>3. 外部出版</b>		
	アフリカ問題——開発と援助の世界史——（日本評論社）	平野克己 著
	知の大洋へ，大洋の知へ！——太平洋島嶼国の近代と知的ビックバン——（彩流社）	塩田光喜 編
	途上国石油産業の政治経済分析（岩波書店）	坂口安紀 編
	<i>Protest and Social Movements in the Developing World</i> (Edward Elgar)	Ed. Shinichi Shigetomi and Kumiko Makino
	<i>Poverty Reduction and Beyond</i> (Palgrave Macmillan)	Ed. Takashi Shiraishi, Tatsufumi Yamagata, and Shahid Yusuf
	<i>Making Health Services More Accessible in Developing Countries</i> (Palgrave Macmillan)	Ed. Hiroko Uchimura
	<i>Plugging into Production Networks</i> (ISEAS)	Ed. Ikuo Kuroiwa
	<i>From Agglomeration to Innovation</i> (Palgrave Macmillan)	Ed. Akifumi Kuchiki and Masatsugu Tsuji
	<i>Non-Standard Employment under Globalization</i> (Palgrave Macmillan)	Ed. Koichi Usami
	<i>Australia's Foreign Economic Policy and ASEAN</i> (ISEAS)	Jiro Okamoto

## 2. 講演会・セミナー等の活動

### (1) 専門講座

講座名	開催日	開催場所	講師・タイトル	参加者数
世界金融危機とブラジル	2009年5月15日	ジェトロ本部5ABC会議室	「ブラジルの政治地図－鍵を握る政党や政治家とは？」 近田亮平（地域研究センターラテンアメリカ研究グループ） 「投資の視点から見たブラジル・マクロ経済動向」 山村洋（JBICリオデジャネイロ 特別顧問）	98
変容するベトナムの経済主体	2009年11月10日	ジェトロ本部5ABC会議室	「総論：変容するベトナムの経済主体」 坂田正三（地域研究センター 専任調査役） 「国有企業改革と地方国有部門の再編」 石塚二葉（開発研究センター法・制度研究グループ） 「二輪車産業のダイナミズムからみるベトナム経済の変容」 藤田麻衣（地域研究センター東南アジアⅡ研究グループ長代理） 「紅河デルタ地域の農村工業の興隆」 坂田正三	91

### (2) 公開セミナー

ポスト TICAD IV の新しいアフリカ投資促進策——実験経済学の貢献——	2009年10月1日	ジェトロ本部9BCD会議室	「日本企業にとってのアフリカ投資」 宮司正毅（南アフリカ共和国北海道名誉領事，元三菱商事常務執行役員，元三菱商事ヨハネスブルグ支店長） 「アフリカ投資に必要な拡大 CSR：アジ研データベースがめざすものとは」 平野克己（地域研究センター長） 「フィールド実験の経済学：使い方の現状と展望」 澤田康幸（東京大学経済学部准教授）	98
--	------------	---------------	---	----

<p>日中韓アフリカ・ セミナー —21 世 紀の東アジアとア フリカー</p>	<p>2010年2月24日</p>	<p>ジェトロ本 部5ABCD会 議室</p>	<p>挨拶・セミナーの趣旨説明平野克己（地域 研究センター長） 中国報告 「中国におけるアフリカ研究の歴史と現状」 李安山（北京大学教授） 「中国の対アフリカ進出と政策」 楊立華（社会科学院西アジア・アフリカ研 究中心教授） コメンテーター：高原明生（東京大学大学 院法学政治学研究科教授） 韓国報告 「韓国におけるアフリカ研究の歴史と現状」 Young Ho Park (KIEP 中東アフリカチーム長) 「韓国の対アフリカ進出と政策」 Baran Han (KIEP 中東アフリカチーム) コメンテーター：奥田聡（地域研究センター 専任調査役） 日本報告 「日本におけるアフリカ研究の歴史と現状」 峯陽一（大阪大学グローバルコラボレー ションセンター准教授） 「日本の対アフリカ進出と政策」 平野克己 コメンテーター：高橋基樹（神戸大学大学 院国際協力研究科教授） パネルディスカッション「21世紀の東アジ アとアフリカの関係」 モデレーター：平野克己 パネリスト：報告者およびコメンテーター 質疑応答</p>	<p>139</p>
--	-------------------	---------------------------------	---	------------

## (3) 夏期公開講座

(開催場所はすべてジェトロ本部5階ABC会議室, 時間は10:30～16:30)

コース名	開催日	テーマ及び講師	参加人数
コース1 変容する韓国・台湾の経済	2009年7月7日	「台湾企業の変容と世界同時不況下の新たなリスク」 佐藤幸人 (新領域研究センター専任調査役) 「台湾のファミリービジネス・グループ：家族の論理と事業の論理」 川上桃子 (新領域研究センター技術革新と成長研究グループ長代理) 「貿易から見た韓国主要産業の競争力向上」 奥田 聡 (地域研究センター専任調査役) 「韓国産業競争力強化の要因と課題」 安倍 誠 (新領域研究センター技術革新と成長研究グループ長) 総括討論 「変容する韓国・台湾の経済」	62
コース2 世界経済危機とラテンアメリカの政治経済	2009年7月9日	「メキシコ：裏庭の苦澁」 星野妙子 (地域研究センター次長) 「ベネズエラ：『資源の呪い』と『ボリバル革命』」 坂口安紀 (地域研究センターラテンアメリカ研究グループ長代理) 「ブラジル：楽観の理由」 濱口伸明 (神戸大学経済経営研究所教授) 「アルゼンチン：楽観の中の不安」 宇佐見耕一 (地域研究センターラテンアメリカ研究グループ長)	44
コース3 フェアトレードと貧困削減	2009年7月10日	「国際貿易システムとフェアトレード」 箭内彰子 (新領域研究センター国際関係・紛争研究グループ) 「社会開発系フェアトレードとビジネス系フェアトレード」 佐藤 寛 (ジェトロ貿易開発部官民連携支援班 上席主任調査研究員) 「コミュニティ開発支援とフェアトレード —パラグアイの事例から—」 藤掛洋子 (東京家政学院大学大学院准教授)	35
コース4 東南アジアのローカル・ガバナンスの新天地 —タイとインドネシアを中心に—	2009年7月23日	「東南アジアのローカル・ガバナンスの新天地」 永井史男 (大阪市立大学大学院法学研究科教授) 「タイの自治体サーベイと分権化 —変化する地方社会と分権化—」 船津鶴代 (新領域研究センター環境・資源研究グループ) 「インドネシアの分権化と住民参画の可能性」 岡本正明 (京都大学東南アジア研究所統合地域研究部門准教授)	23



コース5 2009年インドネシア の選挙	2009年7月24日	「2009年インドネシア大統領選挙を考える」 本名 純（立命館大学国際関係学部教授） 「2009年インドネシアの選挙『国会議員選挙の分析』」 川村晃一（地域研究センター東南アジアI研究グループ） 「イスラーム政治勢力の動向」 見市 建（岩手県立大学総合政策学部講師） パネルディスカッション「2009年インドネシアの選挙を振り返って」	31
コース6 中国の「三農問題」 と「農業産業化」： アグリビジネスの 展開と農村の変容	2009年7月27日	「三農問題と農業政策の展開」 池上彰英（明治大学農学部准教授） 「農業産業化と農業共同組合組織の展開」 寶劔久俊（開発研究センター開発戦略研究グループ） 「品質と取引コストのトレードオフ：産業組織論からみた中国農 産物市場の特徴」 渡邊真理子（地域研究センター東アジア研究グループ長）	48
コース7 開発途上国の障害 統計と障害者の生 計	2009年7月30日	「途上国の障害統計と生計」 森 壮也（新領域研究センター貧困削減・社会開発研究グループ 長代理） 「中国の障害者の生計」 小林昌之（開発研究センター法・制度研究グループ長） 「フィリピンの障害者の生計」 山形辰史（新領域研究センター貧困削減・社会開発研究グループ 長）	20
コース8 経済開発のための モデル分析入門	2009年7月31日	「開発協力のためのモデル分析への招待」 野上裕生（開発研究センター専任調査役） 「マクロ計量モデルの作り方と使い方」 植村仁一（開発研究センターマクロ経済分析グループ長） 「開発途上国経済のモデル分析の新展開」 樹神昌弘（開発研究センター国際経済研究グループ）	51
コース9 中東社会の貧困問 題	2009年8月4日	「エジプトの所得貧困」 土屋一樹（地域研究センター中東研究グループ） 「イエメンの貧困と教育・ジェンダー」 結城貴子（JICA 研究所研究員） 「トルコの『新しい貧困』」 村上 薫（地域研究センター中東研究グループ）	30
コース10 改善が進む中台関 係の諸課題	2009年8月6日	「本テーマの狙いについて」 池上 寛（新領域研究センター 技術革新と成長研究グループ） 「中台直航の解禁と今後の課題」 池上 寛「馬英九政権の対中国政策」 竹内孝之（地域研究センター東アジア研究グループ） 「オバマ政権の東アジア政策」 泉川泰博（中央大学総合政策学部准教授）	41

コース 11 インド：政治経済不安の中での新政権の船出	2009年8月7日	「第15次総選挙と新政権の成立：新政権の安定性」 近藤則夫（地域研究センター南アジア研究グループ長） 「世界金融危機とインド新政権下での財政・金融政策」 井上 武（地域研究センター南アジア研究グループ） 「インド産業セクターに関する政策と動向 : 構造調整政策の再評価と新政権による『包括的成長』の課題」 島根良枝（研究企画部付）	67
--------------------------------	-----------	--	----

#### (4) 海外講演会

名称	開催日	開催場所	テーマ及び講師	参加者数
欧州5都市における講演会 (UNIDO)	2009年9月25日	UNIDO（オーストリア・ウィーン）	「国際産業連関分析から見た世界経済危機」猪俣哲史（開発研究センターマイクロ経済分析グループ長） 孟 渤（在バリ海外派遣員）	28
欧州5都市における講演会 (ボッコニ大学)	2009年10月1日	ボッコニ大学（イタリア・ミラノ）	「国際産業連関分析から見た世界経済危機」 猪俣哲史（開発研究センターマイクロ経済分析グループ長）	20
欧州5都市における講演会 (IPTS)	2009年10月5日	IPTS（スペイン・セビリア）	「国際産業連関分析から見た世界経済危機」 猪俣哲史（開発研究センターマイクロ経済分析グループ長） 孟 渤（在バリ海外派遣員）	9
欧州5都市における講演会 (UNCTAD)	2009年10月9日	UNCTAD（スイス・ジュネーブ）	「国際産業連関分析から見た世界経済危機」 猪俣哲史（開発研究センターマイクロ経済分析グループ長）	9
欧州5都市における講演会 (ECB)	2009年10月15日	ECB（ドイツ・フランクフルト）	「国際産業連関分析から見た世界経済危機」 猪俣哲史（開発研究センターマイクロ経済分析グループ長）孟 渤（在バリ海外派遣員）	14
海外講演会（ダッカ）	2009年10月15日	バングラデシュ・ダッカ ポンゴ・ボンドゥ国際会議場	「戦後日本の農村開発と産業発展—カイゼンの精神」 佐藤 寛（貿易開発部上席主任調査研究員）	80
欧州5都市における講演会 (OECD)	2009年10月20日	OECD（フランス・パリ）	「国際産業連関分析から見た世界経済危機」 猪俣哲史（開発研究センターマイクロ経済分析グループ長）	18

欧州 5 都市における講演会 (CEPII)	2009年10月21日	CEPII(フランス・パリ)	「国際産業連関分析から見た世界経済危機」 猪俣哲史(開発研究センターマイクロ経済分析グループ長)	12
欧州講演会(ロンドン大学SOAS)	2010年3月18日	ロンドン大学SOAS(イギリス・ロンドン)	「国際産業連関分析から見た世界経済危機」 猪俣哲史(開発研究センターマイクロ経済分析グループ長)	12
欧州講演会(SKEMA ビジネス・スクール)	2010年3月25日	SKEMA ビジネス・スクール(フランス・ニース)	「国際産業連関分析から見た世界経済危機」 猪俣哲史(開発研究センターマイクロ経済分析グループ長)	14

(5) 地方講演会

名称	共催者	開催日	開催場所	テーマ及び講師	参加者数
熊本講演会	ジェトロ熊本貿易情報センター, 社団法人熊本県貿易協会	2009年5月21日	ホテル日航熊本5F コスモス	「メコン地域の経済回廊-メコン地域の課題と展望-」 石田正美(開発研究センター専任調査役)	22
八代講演会	八代市, 八代港湾振興協会, ジェトロ熊本貿易情報センター	2009年5月22日	八代ホワイトパレス 2F	「メコン地域の経済回廊-メコン地域の課題と展望-」 石田正美(開発研究センター専任調査役)	69
仙台講演会 「東アジア共同体の核となるASEAN 共同体」	ジェトロ仙台貿易情報センター 他	2009年12月21日	仙台商工会議所 第2中会議室	開会挨拶 「2015年, ASEAN はこうなっている~ASEAN 経済共同体のインパクト~」 石川幸一(亜細亜大学教授) 「ASEAN は, 経済問題をどう解決しようとしているのか?」 鈴木早苗(新領域研究センター国際関係・紛争研究グループ) 「ASEAN を中心としたFTA をいかに活用するか」 助川成也(ジェトロ海外調査部アジア大洋州課課長代理)	33
神戸講演会 「競争激化する東アジアの海上輸送と港湾インフラならびに神戸港の展望」	神戸商工会議所 海運港湾部会, 神戸市みなと総局, ジェトロ神戸	2010年1月19日	神戸商工会議所 3F 役員会議室	開会挨拶 本多博司(神戸商工会議所海運港湾部回復部会長) 第一部 「東アジアの海上輸送と港湾インフラ」 池上 寛(新領域研究センター技術革新と成長研究グループ) 第二部 「神戸港の展望」 小倉修弘(神戸市みなと総局みなと振興部振興課長)	48

高松講演会	ジェトロ香川, 香川大学ビジネス スクール	2010年1月20日	香川大学 ビジネス スクール 特別講義 室	「韓国主要産業の競争力と対韓連携」 奥田 聡 (地域研究センター専任調査役)	33
福岡講演会 「アジア経 済講演会」	財団法人九州経 済調査協会, 社 団法人 福岡貿 易会, 福岡貿易 情報センター	2010年3月12日	九州経 済調 査協 会 6F 大 会 議室	開会挨拶 八尋 (九州経済調査協会情報 研究部長) 第一部「ユドヨノ政権2期目のインドネ シアー“Golden Chance”をつかめるのか? —」 川村 晃一 (地域研究センター東南アジ アI研究グループ) 第二部「インドネシアの投資法と投資 環境について」 本庄 剛 (ジェトロ大分貿易情報セン ター所長)	27

## (6) アジ研フォーラム

講座名	開催日	開催場所	講師	参加者数
台湾－日本から一番 遠い外国	2009年5月12日	船橋市高根公民館 2階講堂	池上 寛 (新領域研究センター技術革新と 成長研究グループ)	95
メキシコ経済の現状 と日墨経済関係	2009年7月22日	経団連会館2階 経団連ホール北	星野妙子 (地域研究センター上席主任研究 員)	—
最近におけるアジア の政治変動——新聞 の国際面を読むため に——	2009年8月4日	千葉県庁本庁舎1 階 多目的ホール	天川直子 (研究支援部専任調査役)	70
ASEANの大国インド ネシアの選挙と新政 権	2009年10月29日	アジア経済研究所 C21会議室	川村 晃一 (地域研究センター東南アジアI 研究グループ) 司会: 鈴木早苗 (新領域研究センター国際 関係・紛争研究グループ)	14
中国の経済発展－地方 政府の役割－	2009年11月11日	千葉県庁1階 多 目的ホール	丁 可 (地域研究センター東アジア研究グ ループ)	40
世俗国家と宗教: 米 国, フランス, トル コ	2010年1月18日	アジア経済研究所 C21会議室	Dr. Ahmet T. Kuru (Assist. Prof., Department of Political Science and Center for Islamic and Arabic Studies, San Diego State University, United States)	25
アジア地域の廃棄物・ 再生資源の国際流通	2010年2月2日	アジア経済研究所 C22会議室	小島道一 (新領域研究センター環境・資源 研究グループ長)	13
インドを見る眼——『平 等』と『効率』の相克 ——	2010年2月5日	千葉県庁5階 大 会議室	湊 一樹 (地域研究センター南アジア研究 グループ)	68

途上国における環境問題に関する研究	2010年2月25日	アジア経済研究所 A33会議室	小島道一（新領域研究センター環境・資源研究グループ長）	9
-------------------	------------	--------------------	-----------------------------	---

## (7) 幕張新都心セミナー

名称	主催者	開催日	開催場所	テーマ及び講師	参加者数
発展途上国奨励賞受賞記念講演会		2009年7月2日	アジア経済研究所 C21 会議室	「所得と分配の人類学 ―エチオピア農村社会の土地と富をめぐる力学―」 松村圭一郎（京都大学大学院人間・環境学研究科助教）	13
幕張新都心公開セミナー	千葉県企業庁	2009年11月26日	幕張テクノガーデン CB 棟 3階 301	「ASEANの組織改革と協力の深化」 鈴木早苗（新領域研究センター国際関係・紛争研究グループ）	40

## (8) その他の講演会, セミナー

ジェトロ・アジア経済研究所・国際連合共催セミナー「アフリカ経済開発（EDA）2009年報告書」東京報告会	国際連合広報センター	2009年7月10日	国連大学本部ビル（UNハウス）5階 コミッテールーム#2	「アフリカ経済開発（EDA）2009年報告書」について 笠原重久（国連貿易開発会議（UNCTAD）／ Economic Affairs Officer, United Nations Conference on Trade and Development） 山形辰史（新領域研究センター貧困削減・社会開発研究グループ長）	80
--	------------	------------	------------------------------	--	----

## (9) プレスブリーフィング

名称	開催日	開催場所	
2008年のアジア動向に関するプレスブリーフィング（『アジア動向年報』刊行にあたって開催）	2009年6月10日	ジェトロ本部 11階 貿易記者会	「2008年のアジア」総論のポイント 天川直子（地域研究センター専任調査役）「2008年および現在の地域別動向」 奥田 聡（地域研究センター専任調査役） 近藤則夫（地域センター南アジア研究グループ長） 中村正志（地域センター東南アジア I 研究グループ長代理）

## (10) テレビへのレギュラー出演

日テレ NEWS24 デイリープラネット [プラネット VIEW] での時事解説 (場所は、日本テレビ本社スタジオ)

日時	講師	テーマ
2009年4月8日	中川雅彦 (地域研究センター東アジア研究グループ主任研究員)	「最高人民会議」を前にアピール～北朝鮮～
2009年4月22日	平野克己 (地域研究センター長)	「総選挙で変わるのか? 南アフリカ」
2009年5月25日	福田安志 (図書館長)	「アメリカオバマ政権 中東和平への道のり」
2009年6月25日	鈴木均 (新領域研究センター 国際関係・紛争研究グループ長代理)	「大規模デモとイランの行方」
2009年7月23日	小島道一 (新領域研究センター環境・資源研究グループ長)	「温室効果ガス削減と発展途上国」
2009年8月20日	川村晃一 (地域研究センター東南アジア研究グループ)	「インドネシアの政治」
2009年9月10日	工藤年博 (地域研究センター東南アジアⅡ研究グループ長)	「ミャンマー少数民族問題の行方」
2009年10月1日	國宗 浩三 (開発研究センター国際経済研究グループ長)	「世界的景気後退と IMF 改革」
2009年11月5日	鈴木均 (新領域研究センター国際関係・紛争研究グループ長代理)	「アフガニスタン・米国の政策と日本の支援」
2009年12月3日	平野克己 (地域研究センター長)	「日本の海外援助に必要なもの」
2009年1月14日	平野克己 (地域研究センター長)	「サッカーW杯南ア大会, その問題点は」
2010年2月23日	小島道一 (新領域研究センター環境・資源研究グループ長)	「日本から途上国へ リサイクル資源輸出急増」
2010年3月11日	宇佐見耕一 (地域研究センターラテンアメリカ研究グループ長)	「ハイチとチリの大地震, 復興は?」

### 3. 発展途上国奨励賞

#### 第30回発展途上国研究奨励賞

「発展途上国研究奨励賞」は、途上国に関する社会科学およびその周辺分野の調査研究水準の向上と研究奨励に資することを目的として、昭和55年度にアジア経済研究所が創設したものである。平成21年度は他薦、自薦の応募があった44点から研究支援部での審査、研究者の査読、外部学識経験者を含む選定委員会における最終審査を経て下記の著作を受賞作品として選定した。7月2日に研究所において授賞式と著者による記念講演を実施した。

受賞作品：『所有と分配の人類学——エチオピア農村社会の土地と富をめぐる力学』世界思想社

著者：京都大学大学院人間・環境学研究科助教 松村圭一郎氏

### 4. 賛助会制度

賛助会制度は、当研究所の事業活動に賛同をいただいた会員より賛助会費の資金援助を得て、研究成果を広く普及するために設けられた制度である。

賛助会は、企業、団体、大学、研究機関等のための法人会員（年会費140,000円）と研究所事業に関心のある個人を対象とする個人利用会員（年会費10,000円）からなる。平成21年度末の会員数は、法人会員246件、個人利用会員190件である。

法人会員には、オンライン閲覧による最新データベースの提供、アジア経済研究所の各種出版物の送付、講師派遣相談等を行い、個人利用会員には『アジア研ワールド・トレンド』（月刊）送付等を行っている。

会員に対するサービス充実を図るため、平成21年度は図書館資料貸出サービスを開始した。さらに賛助会員獲得キャンペーン（10月13日～12月25日）を実施し、大学訪問等をした結果、キャンペーン期間中に3法人から新規加入の申し込みがあった。

### 5. アジア経済研究所ウェブサイト (www.ide.go.jp)

平成21年度は、前年度導入したコンテンツ・マネジメント・システム (webrelease2) を活用し、迅速かつ正確な更新作業を行い、時間、労力、コスト面で効率的な運営を行った。サイトコンテンツについては、論文のバックナンバー掲載、研究者のマスコミ出演内容掲載、月刊誌『アジア研ワールド・トレンド』で好評の連載記事の掲載など拡充を図るとともに、ページタイトルをわかりやすくするなどSEO対策（ページ内における適切なキーワードの使用など）を行った。その結果、アクセス件数（ページ参照数）が前年度比77%増と大幅に増加した。また、対ア

フリカ投資誘致型実証事業の一環として、「アフリカ成長企業ファイル (AGE File)」を立ち上げ、日本企業からの要望が強いアフリカビジネスの具体事例の提供を開始した。一方、ウェブサイト運営委員会においては、ウェブサイトによる情報発信の重要性を明確にするために、研究所ウェブサイトの位置づけと運用方針について議論を行い、ウェブサイトを出版・講演会と並ぶ成果普及の主要な手段として位置づけることとなった。